

腫瘍

Tumor

ユニット責任者：臨床腫瘍学 教授 中島 貴子

| ブロック名 | 期間 | ブロック責任者 | |
|--------|----|---------------|------|
| 第1ブロック | 腫瘍 | 9月10日 ~ 9月13日 | 砂川 優 |

1. ユニット概要・学習内容

がんを含む悪性腫瘍の生物学から診断、治療まで、各臓器・領域に共通する腫瘍学を総合的に学ぶ。疫学、発生、病理診断、ゲノム解析などの基本的な知識に加え、全身療法としての薬物療法、放射線治療、外科的治療、支持療法、緩和医療など、悪性腫瘍に対する診療に必要な実践的な知識を身につける。

2. 到達目標

- 1) 悪性腫瘍の疫学、発生、予防・検診について説明できる。
- 2) 悪性腫瘍と遺伝子異常・ウイルスとの関係、発がん機構を理解し、遺伝性・家族性腫瘍についても説明できる。
- 3) 悪性腫瘍に関するエビデンスを理解する上で必要な基本的な尺度、統計学を理解できる。
- 4) 悪性腫瘍の病理学的診断について説明できる。
- 5) 腫瘍のゲノム解析とその臨床応用について説明できる。
- 6) 腫瘍免疫、悪性腫瘍に対する免疫療法について説明できる。
- 7) 悪性腫瘍に対する薬物療法の理論、種類、副作用について説明できる。
- 8) Oncologic Emergency について概説できる。
- 9) 悪性腫瘍に対する手術療法の理論、種類、合併症について説明できる。
- 10) 悪性腫瘍に対する放射線療法の理論、種類、副作用について説明できる。
- 11) 悪性腫瘍に対する interventional radiology について説明できる。

3. 学習上の注意点

各臓器・領域におけるがんを含む悪性腫瘍の特性については、臓器別コースで学習するため、本ユニットでは、それらに共通した理論、知識を総合的に学習する。

授業はスライド資料をもとに進める。入門腫瘍内科学の総論を予習しておくことが望ましい。授業で重要とコメントされた部位については、各自で以下の参加書などを用いて復習すること。授業中・後には積極的な質問、討議を期待する。

4. 教科書・参考書

教科書：

『入門腫瘍内科学 改訂第2版』（篠原出版新社）

（書評）学生の教科書として用いられることを目的とした、わかりやすい基礎的な内容。

参考書：

『新臨床腫瘍学 - がん薬物療法専門医のために - 改訂第5版』（南江堂）

（書評）がん薬物療法専門医を目指す医師の学習を目的とした、基本的ではあるが、やや専門的な内容。

『Cancer Principles and Practice of Oncology』（Lippincott Williams & Wilkins）

（書評）がんの教科書として、古くから海外問わず読まれている良著。

5. 成績評価

| 評価項目 | 実施回数 | 評価割合 | 備考 |
|------|------|--------|----------------|
| 定期試験 | 1 | 70 (%) | 後期期末試験期間中に実施する |
| TBL | | 20 (%) | |
| 授業態度 | | 10 (%) | |

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

| 所属 | 役職 | 氏名 | 時間 | 場所 | 連絡先 |
|-------|-----|-------|------|----------|------------|
| 臨床腫瘍学 | 教授 | 中島 貴子 | 火 以外 | 臨床腫瘍学 医局 | tnakajima |
| 〃 | 准教授 | 砂川 優 | 月 以外 | 〃 | y.sunakawa |
| 〃 | 講師 | 小倉 孝氏 | 月・水 | 〃 | takogura |
| 〃 | 講師 | 伊澤 直樹 | 火 以外 | 〃 | n2izawa |

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略